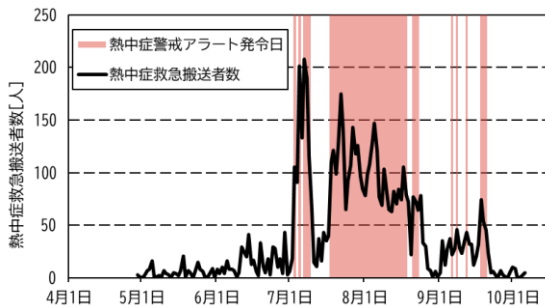


○ 2024年の気候変動による影響

気候変動が深刻化する現代において、世界各地で局地的な豪雨や極端な高温などの気象災害が多発しています。

スペイン東部では、10月末に記録的な大雨による洪水が発生し、200人以上の死亡が確認されました。世界各地の異常気象について調べている国際的な研究チームは、今回の大雨をもたらした低気圧が勢力を強めた原因として、地球温暖化が影響している可能性があるという見方を示しました。

愛知県でも、8月に台風10号の大雨によって浸水や土砂崩れが発生し、蒲郡市では3人がお亡くなりになるなど、多くの被害が確認されました。また、豪雨だけでなく極端な高温にもみまわれ、熱中症警戒アラート発令日は、過去最多の46日となり、熱中症による救急搬送者数は、6,347人となりました。



愛知県における2024年の熱中症警戒アラート発令日と熱中症救急搬送者数(環境省と総務省消防庁のデータを基に作成)

このような状況に対処するためには、気候変動の「緩和」だけでなく気候変動への「適応」も、一層強化する必要があります。

○ 「気候危機対策交流フォーラム」の開催

県では、愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で、気候変動の「緩和」と「適応」を融合した地域づくりについて考える「気候危機対策交流フォーラム」を開催します。是非ご参加ください。

1 日時 2025年1月23日(木) 13:30~16:40

2 場所 ウィンクあいち13階1302会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38)

3 内容

基調講演①

「気候変動がもたらす未来の死者数
~季節性の変化に迫る」

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学
教授 橋爪 眞弘 氏

基調講演②

「気候変動に対する環境政策と熱中症対策」

環境省中部地方環境事務所

所長 小森 繁 氏

会場交流トークセッション

「暑熱対策における緩和策と適応策の融合とは」

4 定員 50名(事前申込制)

5 参加費 無料

詳細及び申込はWebページをご覧ください。

(<https://www.kankyosoken.or.jp/>)



環境調査センター 企画情報部

愛知県気候変動適応センター

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

